

〔科目名〕 自治行政政策論	〔単位数〕 1単位	〔科目区分〕 キャリア教育科目
〔担当者〕 青森県職員 (コーディネーター：経済グループ)	〔オフィス・アワー〕 時間： 場所：	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 青森県の経済・財政・労働政策・農林業・水産業・観光などに関し、現状や課題および今後の方向性といったことについて、青森県庁の関連セクションの責任者を講師として招き、最新の情報をまじえて講義をしていただきます。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 自治行政の現実や課題を知って、キャリア形成に役立ててください。 公的機関に関心のある人は本科目から多くの刺激を受けるでしょう。一方公的機関に関心のない人も地域住民の一人として、地方自治体がどのような問題意識を抱いて政策を立案しているのかを知ってほしいと思います。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ここでは、地方自治体としての青森県の自治行政政策全般、ならびに主要な施策に関する具体的な計画や事例を取りあげます。この講義を通して地域公共政策のあり方、地方自治体が直面する諸問題を、制度と現実の両面から理解し、考察する力を養うことが主な目標です。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 授業評価アンケートでは、「出席カードの設問の文言や記入時間、提出時間」についてコメントがありました。これについて、検討してみます。また、教員の声が小さいとのご意見もありましたので、マイクを使用するなどの改善を行います。		
〔教科書〕 授業ごとに資料を配布します。		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 図書館に地方行政・公共経済・地方財政など多くの本があるので、積極的に参照してください。		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末試験(実施方法は初回に示す)および出席状況を総合的に評価します。		
〔評価の基準及びスケール〕 学生便覧の「成績評価」に示されている本学の規定通りです。		
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 県議会の開会など、やむをえない公用がある場合、休講・補講や講義内容の変更、講師の変更などがあるかもしれません。掲示に十分注意してください。 受講時の私語や途中退室は厳禁です。これらの行為に対しては注意を行い、評価点に反映させます。		
〔実務経歴〕 自治体での実務経験を活かし、青森県の経済・財政・労働政策・農林業・水産業・観光などに関し、現状や課題及び今後の方向性について、最新の情報をまじえて講義する授業です。		

※ 授業スケジュールについては別途掲示にてお知らせします。